

東村山稲門会ニュース 第4号

平成 9年 7月 5日 発行

発行 大西 幸夫 0423 95 2817

編集 塩見 之一 " 95 3718

事務局 小亀 輝雄 " 94 6951

I. 会からのお知らせ

1. 8月定例会

8月の一般集会は夏休みとさせていただきます。

なお役員会は秋の総会準備に向けて予定通り、

8月 2日(土) 14:00～

中央公民館2F 第三集會室 で行います。

役員以外の方でも興味のある方は気楽にご出席下さい。

2. 6月7日(土)の一般集会概況

15時30分より ふるさと歴史館において

東村山市役所 建設部長 永野武氏 から

『東村山市のまちづくりと道路の状況』というテーマで下記のような講演を頂きました。

① 平成 9年 4月から変わった、市役所の組織概要

② 東村山の発展の経緯

③ 平成 8年からの東村山市総合15年計画“LET”S 2010 の概要

④ 市内の道路整備計画とその進捗状況

その後、身近な問題(例えば、悪名高き府中街道のジェットコースター歩道の改善計画など)数多くの活発な質問が出され、時間の経過を忘れる、意義ある半日でした。

その他のニュース

3. 三多摩稲門連合会、会長会の模様

6月11日(水) 御岳駅付近の河鹿園で開催され、各地域の稲門会20団体49名の他、大学から奥島総長はじめ総長室、校友会6名の参加があり、東村山から大西、久世、三宅の3名が出席しました。

この会は昭和54年から毎年、各地域稲門会の持ち回りで行われており、各会の情報交換と懇親を兼ねた楽しい会でした。

また 7月27日(日)に立川、日野が幹事で連合会総会が開催されます。(別紙参照)

正式案内は後日到着すると思いますので、参加希望の方は事務局までご連絡下さい。

4. 校歌歌碑建立の会(別紙参照)

別紙記載のように紺碧の空の歌碑はあるが、校歌『都の西北』は無いので、校歌制定90年を機に歌碑を建設したいという動きがあり、募金を行っています。

有志の方は、募金事務局へお問い合わせ下さい。

(大西 幸夫 0423 95 2817)

II. 同好会だより

郷土史の会および絵画同好会より活動状況と今後の日程などについて報告と連絡がありました。

1. 郷土史の会(第3回)報告

さる 6月15日(日) 14時から東村山ふるさと歴史館研修室で当会の江藤副会長殿のご幹旋で講師に東村山 市史編纂係主事 小峰孝男先生をお迎えし、「郷土史に親しむ方法」というタイトルで2時間余り熱心にご講演頂き、種々示唆に富んだ興味深いお話を聞かせて頂きました。出席者23名。

(後段レジュメ掲載)

なお小峰先生は説経浄瑠璃の名取で、二代目若松小若太夫の名で時々近辺で公演されております。

次回会合は出席者の希望で市内下宅部遺跡の見学ということでしたが、照会の結果土曜・日曜は発掘現場が休みということで、秋には、一般公開の日程も計画されているようです。

その折にご参加頂くようお願い致します。

(東村山市報掲載)

ついては、7月、8月は休みとし、9月に会合を計画し、後日ご案内致します。

(三宅 良太 0423 94 5298)

レジュメ

「郷土史に親しむ方法」 平成 9年 6月15日
ふるさと歴史館 小峰 孝男

1. はじめに

自分の体験から。住んでいる土地に関わる愛着が郷土史の源

まず足で稼ごう。

家系図を作ろう、古老の話を聞こう。

2. 郷土史は道端に落ちている?

地図はいつも手許に(古地図・迅速図
・2万5千分の1の地図)

地名・小字は文化遺産

用事は車より自転車ですすべし

交差点は要注意

昔の様子は頭の中で想像すべし

石造物あれこれ(記念碑・石仏)

3. 寺社は文化財の宝庫

建築物の様式・時代・配置・境内の石造物

墓場探訪 いろいろな墓石 (次頁に続く)

4. 点を線で結ぶ散歩道

既成の散歩道を利用しよう。(歴史館作成のもの)

自分で散歩道を作ろう。市内で完結させないものもおもしろい。

5. 郷土史・地誌を読む

「新編武蔵風土記稿」江戸幕府が編纂したもの

「武蔵野話」 斎藤鶴磯 著

『東村山市史』昭和46年版

『図説東村山市史』など

郷土研究会・くぬぎの会の成果を拝借

図書館は常に御友達

6. 簡単な古文書入門

近世古文書の性格と内容

御家流・変態仮名に親しもう。

時代によって変わる書体。

7. 記録をとろう

メモ

写真

拓本術

スケッチ

(原文のまま)

2. 絵画同好会

1. スケッチ会について

6月18日のスケッチ会は台風7号の影響で天候不順のため中止しました。

7月、8月のスケッチ会は、いずれも夏休みといたします。

2. 親睦連絡会予定

第4回 7月12日(土)

第5回 8月 9日(土)

○ 時刻と場所はいずれも

午後2時より 中央公民館1Fロビー

問合せ・連絡先

宮 輝 雄 0423 91 7542

または 塩 見 之 一 " 95 3718

3. 一期会展無料招待券配布の件

塩見が若い頃に在籍しておりました上野の公募美術団体『一期会』の展覧会無料招待券が、同会前副理事長の山本画伯から15名分届きました。会期は 8月21日～30日で、1枚で3名が入場できます。

絵画のジャンルは油彩・日本画・水彩・和紙画・版画で見ごたえがありグループで行くか個人で行くかは連絡会で打合せをする予定です。(塩見)

4. スケッチのてほどきについて

絵画は使用する顔料や画材などによってジャンル別されますが、その共通点を挙げるとすればス

ケッチから始まるという点で、制作に入る前に繰返しスケッチを重ね人物・静物・風景などのイメージを自分の右脳に取込むことが作画の起点と言われております。

幸い東村山市内およびその周辺には絵画にまとめ易い景勝地が数多く、四季折々の風情が絵心を誘います。

スケッチ用の画材は屋内用・屋外用共に今では買えない物は無く、画塾の倉庫に積まれてあった古キャンバスの固まった絵具を水で剥離しキャンバス面の緩みを締め直して使おうとしたことなどは昔語りとなった反面、画材の種類が豊富となったため初歩の方は図書館の入門書で基礎知識を身につけ、絵仲間を作って知識に磨きをかけるなどの工夫が必要になったと言えます。

絵画に関する感性は個人独特のもので、同じモチーフ(例えば今の時期ですと野火止用水の清流と岸の夏草)をグループで描いてもそれぞれが異なる良い味を出して同じ絵にならないところが絵画の良さと恐さだと言われております。

しかし一方で感性の尊重と背反する構図・色の調和・混色(油彩)などにタブーがありこれを避けるために例えば、

○ 画面を複数の相似形に分ける構図はとらない。

○ 赤と緑などの反対色を近接させない。

○ 混色により色が濁る油彩絵具の組合わせをしてはならない。

等々知識として記憶していてもスケッチ現場でつい犯してしまう過ちの回避は、実地で学ばねばならないようです。趣味として絵画をたしなむ際には気楽に楽しみたいものですが、絵の出来上がり

が左右されますので無視出来ません。

編集後言

今年の4月から稲門会ニュースが月刊ペースで発行され今回で第4号を迎えました。当初筆者も「手伝え」と指名されておりましたが、昔世話になった絵画団体からの協力依頼と重なって出遅れ、編集担当として今回から参加することになりました。

第4号では将来、当ニュースの紙面に投稿欄などを設け現在の会から会員への一方向性から双方向性を持つように変わるのではとの配慮から、見にくい程度ギリギリに文字を詰めてみました。

その結果、A4版1頁に四百字詰原稿用紙約5枚程度が読み易さと読みにくさの限界のようで、記事が少ないことが予想される夏の間に版組み変更のテストを再度試みます。今回の版組み変更について意見をお寄せ下さい。以上。(塩見)